

舞台は世界だ!

Go! Global

2014 KGM
グローバル人材
育成プログラム
レポート Vol.2



KANTO GAKUIN MUTSUURA
JUNIOR&SENIOR HIGH SCHOOL

ますます進むグローバル化は、加速するボーダーレス化とも言えます。中高一貫校での6年間は、入学から10年後、さらには20年後の社会を見据えて準備する大切な時と場です。ボーダーレスに向かう社会を早期に意識し体験する学習環境づくり。関東学院六浦は60周年を迎えた今、「若く純粋な想いを道へ.....将来を世界に繋ぐこと」が新たな使命と考えています。

アメリカ短期研修 「USA セミナー・キャリア直結型夏季短期研修」

2014年度のアメリカ短期研修が7月24日～8月13日の日程で、シアトル、サンフランシスコにて行われました。
今年度の参加生徒は30名。とても充実した素晴らしい21日間でした！！



一研修レポートより抜粋一

7月24日(木) 出発当日

14時30分成田空港国際ターミナル集合。保護者のみなさんと集合写真撮影後、定刻通り出発。

7月24日(木)～25日(金) サンフランシスコ滞在

UCバークレーを訪問。さっそく学生3名から話を聞いた。到着直後のためか、生徒から積極的な質問はあまりでなかったものの、様々なバックグラウンドをもつ学生からのプレゼンテーションを堪能。翌日のスタンフォードでの日本人研究者の講義では生徒から活発な質問が多数あり、大変有意義な機会となった。

初日はUCバークレーからオールドサクラメントを散策、2日目はスタンフォードからゴールデンゲートブリッジを見学後、ピア39を散策しながらさっそく実践英会話に挑戦した。

7月26日(土)～27日(日) サンフランシスコからシアトルへ

オリエンテーションに参加し、アメリカに留学中の本校卒業生(一柳君、立田さん)から英語の勉強の仕方や受験について、そして留学についての話を聞くこ

とができた。ホテルではショートプレゼンテーションを行い、今後の研修についての目標を明確にした。翌27日(日)、シアトルでホストファミリーと大学キャンパス内で合流。

7月28日(月)～8月3日(日) シアトル滞在1週目 ホームステイ&授業開始

午前中は2つのクラスに分かれての授業。毎日スピーチを準備し、授業の始めに各自発表した。午後は様々なアクティビティに参加。フードバンクのボランティアでは積極的に作業に励み、達成感を得ることができた。また、現地の学生(バディ)とのパーベキュー等、同世代交流の機会も多く、次第に積極的に英語で話しかけるようになっていた。

8月4日(月)～10日(日) シアトル滞在2週目

シアトルダウンタウン研修では、スペースニードル展望台からパイクプレスマーケットでの昼食、および散策を堪能。また、アメリカ文化の象徴の一つであるメジャーリーグ観戦(シアトルマリナーズ)では、各自が応援グッズを準備し、熱心に応援した。その姿が球場の巨大スクリーンに複数回映り、大いに盛り上がる。本場のエンターテイメントや観戦マナーの違いを実感した。

バディとワシントン大学メインキャンパスを訪問し、UC系大学との違いに感銘を受ける生徒達。授業は各クラスの先生方が工夫し、会話に使う身近な語彙を増やしたり、発音指導をしていただいた。毎日の発表では生徒も徐々に慣れ、インデックスカードを利用するなど、工夫しながら発表していた。また、バディたちに、生徒がそれぞれ日本文化を披露。空手の型の説明、及び披露は大好評だった。

8月11日(月)～13日(水) シアトルホテル滞在からシアトル～サンフランシスコ～成田

ホストファミリーとの別れに感極まって泣き出す生徒もいた。

総まとめとして、11日(月)の午前中に2クラス合同のプレゼンテーション大会を、午後にはソーラン節などの発表を実施。帰国便機内での英会話も問題なく、13日(水)無事成田に到着した。サンフランシスコ空港で、偶然、昨年3月実施のUC Davis 研修参加の卒業生と遭遇し、同じ便で帰国した。関東学院六浦生の世界への広がりを感じた瞬間であった。

今回の研修を通して、団体行動を常に考え、全員で協力してすべての行程をスムーズに行った素晴らしい生徒たちに感謝します。研修全体を通して、やはり基本的な生活習慣、マナー(Thank you, Excuse me, I'm sorry, Please)の徹底など、事前研修を更にしっかりと行うことが研修成功の鍵であることを再認識しました。

今回最も印象に残ったことは、ヘルパーとして手伝ってくれたアメリカの大学に通う卒業生2人の活躍です。教員が現地での対応に時間を費やしている間、生徒たちのケアに熱心に関わり、より充実した研修になるよう努力してくれました。2人とも異国アメリカでの生活で大きく成長していることが実感でき、大変うれしく思います。サンフランシスコ空港で、UC Davis 研修参加の本校卒業生に偶然会ったこともあり、英語を通して真の国際感覚を身につけ、国際人として活躍しつつある関東六浦生は本当に頼もしく思えました。今回の研修に参加した生徒たちも、将来、世界に貢献するグローバル人材として活躍してくれることを期待しています！！

引率教員 田澤由紀子・鈴木由美子

アメリカ研修に参加して 4年3組 横山 隆

今回のアメリカ研修は、初めてのアメリカということもあり、楽しみであると同時に、不安もありました。行きの飛行機の中で、飲み物を頼むときはまだ平気だったのですが、サンフランシスコ到着後、入国審査のときはかなり緊張しました。そのときの係りの女性がものすごく恐くて、質問に正しく答えることができていたのか、全くわからなかったからです。

シアトル到着後も、最初のうちは伝えたいことが上手く伝わらなくて、とても悔しい思いをしました。しかし、何日が過ぎて毎日の生活をしているうちに、自然に相手の言っていることがなんとなく理解できるようになってきたことが自分でも分かってきました。これは一緒に参加している友人たちも同じように感じていることだと思います。少しずつ英語を聞き取ることができるようになり、うれしかったのと同時に自信にもなりました。

今回のこのアメリカ研修の経験やホストファミリーとの出会いは、自分にとってとても大きく、かけがえの無い思い出になっていると思います。

海外研修に参加することは、自分を変える良いきっかけになります。いつかまた英語をもっと話せるようになったら、ホストファミリーに会いに行こうと思います。アメリカは面白い人がいっぱいいて、とてもよいところです。ぜひ皆さんもアメリカ研修に参加してみてください。



“ I love my host family!! ” 4年5組 西澤 理紗

私はこのアメリカ研修でたくさんのことを学びました。

アメリカへ行く前は、緊張と不安でいっぱいでした。なぜなら、私のホストファミリーは8人家族だったからです。私は兄弟がいないので6人の兄弟の中で過ごしていけるか、大変不安だったのです。しかし、ホストファミリーは私を温かく、そして優しく迎えてくれました。そして私がバドミントン部に所属していることを伝えると、一緒にバドミントンをしてくれたり、また、お買い物をしたり、キャンプファイヤーをしたりと私が楽しく過ごせるようにとホストファミリーのみんなが色々計画を立ててくれました。私を家族の一員として接してくれて本当に感謝しています。

初めは本当に英語を話すことに苦労しました。最初に滞在したサンフランシスコで、友達とお昼ご飯をとるためにピザ屋に行ったとき、ピザを3枚注文したにもかかわらず6枚渡されてしまいました。しかし私達は、ピザの枚数が注文と違うことすら英語で話すことができませんでした。また、ホストファミリーとたくさん話したいのに、単語が分からず、ボディランゲージを使いながらの会話しかできませんでした。まともに話すことができなくて悔しかったです。しかし3週間英語漬けの生活を送るうちに、相手が何を話しているのかをすぐに理解できるようになりました。そのため研修の後半はホストファミリーと笑いあうことができるようになりました。すごくうれしかったです。

私はこのアメリカ研修で、英語を話すことができない悔しさと、逆に一緒に笑いあうことができたうれしさを感じて、「もっと英語力を身につけよう」と改めて思いました。そして、研修を通して人間的に少しは成長できたのではないかと思います。学校のみならずバディと過ごしたプログラムもすべてが良い思い出になりました。大変充実した日々を過ごせて、心から感謝しています。

最後に、この写真はホストシスターの Sophia と同じポーズで撮った写真です！ “ I love my host family!! ” また会いに行きたいと思います。



第6回 関東学院英語コミュニケーションコンテスト



11月8日(土) 関東学院大学ベンネットホールに関東学院各校地の園児・小学生・中高生・大学生が集い、「第6回関東学院英語コミュニケーションコンテスト」が行われました。こども園から大学まで、オール関東学院で実施する「コミュニケーション」をキーワードに英語力を競うこの大会。各出場チームとも大変工夫された発表で、見に来てくださった方も大満足でした。

今回の実施時期は例年より1週間早く、練習時間を十分に確保できませんでしたが、本校生徒達は短い時間の中で一生懸命練習し、本番は素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。今回のコンテストでよかったことは、生徒が楽しんで発表していたことです。また、それが評価につながり、中学の部、高校の部ともに最優秀賞(第1位: Kanto Award)をいただきました。また、今年は新たな試みとして六浦と三春台の生徒でディベートも行なわれました。議題は、「生徒が携帯電話を学校に持ってくるべきか」で、六浦は negative(否定側: 持ってくるべきではない)という立場にたち、意見を述べました。ディベートは今回が初めてということもあり、勝敗はつけられないものでしたが、代表の生徒たちは夏休みにディベートワークショップに参加したり、English Lounge に集まって練習したりと、出来る限りの準備をして臨みました。そして当日は堂々と自分たちの意見を述べることができました。

人前で、しかも英語で話すということは簡単にできるものではありません。そのような点においても、今回出場した生徒たち全員がとても素晴らしい発表を行うことができたのは、大きな成果でした。

本コンテストも回を重ねるごとに、生徒たちが自ら積極的にコンテストに関わる姿勢がみられ、「英語を話すと楽しい! 伝わるってうれしい!」という語学を学ぶ原点を生徒たちが味わう機会となっています。来年も多くの子が参加してくれることを期待します。

英語科 鈴木由美子

中学の部 最優秀賞

2年生

「Eigo de "Show-ten"」

高校の部 最優秀賞

5年生

「KGM Airlines」

I have taken part in the All Kanto Gakuin Communication Contest every year for 6 years. Those experiences have been good for me. When I made my first speech, I was an elementary school student, having little knowledge about English. I learned my speech by heart and delivered it to the audience. I had a feeling as if I was a native speaker of English. At that time I found how important practice is and I could convey my message in English even if my English was limited. This experience encouraged me to join the contest again next year.

When I was in the first grade of junior high school, I performed "Who am I?" with my friends. We enjoyed communicating with the audience in English. I have made speeches twice and I got "the Kanto Award", the first prize when I was in the fourth grade. I was delighted and felt a sense of achievement.

Finally, this year, my friend and I performed a skit with the title "KGM Airlines", of some happenings in an airplane. We got "the Kanto Award", the best performance by a group.

I think taking part in the contest is a good chance to enjoy English. Once you join it, you will want to do it again! Please try it.

5年3組 柏木みなみ (KASHIWAGI MINAMI)



6年生が英検準1級に合格!

6年生の大宮安美さんが実用英語技能検定準1級にみごと合格しました。おめでとうございます!

以下、彼女の合格体験記です。今後ますます語学力を磨き、グローバル人材として世界で活躍することを期待しています!!



準1級の一次試験で出題される単語はレベルが高いものの、大学受験の勉強でも知っている役に立つ単語が多くあり、受験勉強と両立しながら準備を行うことが出来たと思います。

一次試験の合格が発表されてすぐに二次試験の面接練習が始まりました。準1級の面接試験では、イラストで描かれたストーリーの描写に加え、社会問題についての自分の意見を明確に述べる事が要求されます。海外への渡航経験もなく、普段机で紙を通してしか英語に触れない受験生の私にとってそれは大きな課題でした。練習を始めて間もない頃は、話している間にその話題からそれてしまっ

り、質問の内容についてのそもそもの知識が足りないこともあり、絶望的な状態だったと思います。それでも、毎日昼休みと放課後、そして六浦祭(文化祭)当日も準1級の面接委員である田澤先生が、時に厳しく丁寧に指導してくださり、徐々に簡潔な答えが出せるようになっていたのが自分でもわかりました。

面接の当日は周りが会社員の方や海外経験のある大人ばかりで、焦りを感じる瞬間もありましたが、面接中は相手との自然な会話を楽しむような感覚で臨むことが出来ました。言葉に詰まることがあっても、相手に自分の意見を伝えようとする姿勢が大切だと思いました。

*If I have the belief that I can do it,
I shall surely acquire the capacity to do it even
if I may not have it at the beginning.*

(私は「自分是可以する」と確信を持ったときに、最初

は自分が持っていなかった能力さえ確実に手に入れるようになる)

これはガンジーの言葉で、何か難しい事柄に直面した時にいつも思い出す言葉です。自分をあきらめずに努力を重ねれば、どんなことでも必ず出来るようになると思います。地道に重ねた努力が実を結んだ経験は、その後の自信に繋がると思います。最初は無理だと思う事でも、自分の環境のせいにはせず、まずやってみてほしいです。自分を信じて諦めずに続ければ、何か見えてくるはずですよ。英検に限らず、興味を持った事は積極的に挑戦してみてください。

6年5組 大宮安美



The English Lounge OPEN!!



The goal of our English lounge is to increase the chance to talk freely in English with native speakers. The location is on the first floor of our newest building and is very visible. Many students can visit during lunch or after school.

There are regular visitors who enjoy this space for an English lunch and drop-ins too! This attractive room is also used for some regular classes, as a multi-media space and some English games are available to play. Events are sometimes held that include students from other countries and extra English group lessons are held weekly.

校長先生メッセージ



関東学院六浦中学校・高等学校
校長 黒畑 勝男

関東学院六浦から眺める水平線には、くっきりと世界のステージが見えます。

関東学院六浦の教室は、10年後、20年後、そのステージに立つ自分を準備するにぎやかな楽屋です。

関東学院六浦での学びのテーマは、近未来の社会を見据え、逞しくも優しく生きる力を育てること。純粋に映す瞳と、素直に感じる豊かな感性で、グローバル社会を身近に経験する実学が、いっぱいプログラムされています。

「人になれ 奉仕せよ」
関東学院六浦には、揺るがない建学の精神があります。キリスト教に立つ教育理念、素晴らしい学校環境、頼もしい教職員のあたたかい励まし。誰もが臆せず、一步を踏み出します。

2014年度は本校にとって、グローバル教育をよりグレードアップし、世界に羽ばたく生徒たちの基礎作りを再構築した記念すべき年です。「Go! Global Vol.1」でお知らせした海外研修に関する新たな取り組みをまとめました。詳しくは本リーフレットに挟み込んである別紙をご覧ください。

これからも様々な企画を計画・実施し、生徒たちとともに発展させていきます。次号 Vol.3 をお楽しみに!!

関東学院六浦中学校・高等学校 2014年度海外研修(希望者参加型行事)

1年(中1)	2年(中2)	3年(中3)	4年(高1)	5年(高2)	6年(高3)
夏期集中英語研修 国内ミニ留学体験コース			アメリカ短期研修 USAセミナー・キャリア直結型研修		
カンボジア・サービス・ラーニング研修					
				オーストラリア・ターム留学	
				マレーシア・ターム留学	
フィリピンセブ島 語学研修					
マレーシア 視察ツアー(保護者対象)					
					UCデビス研修

